

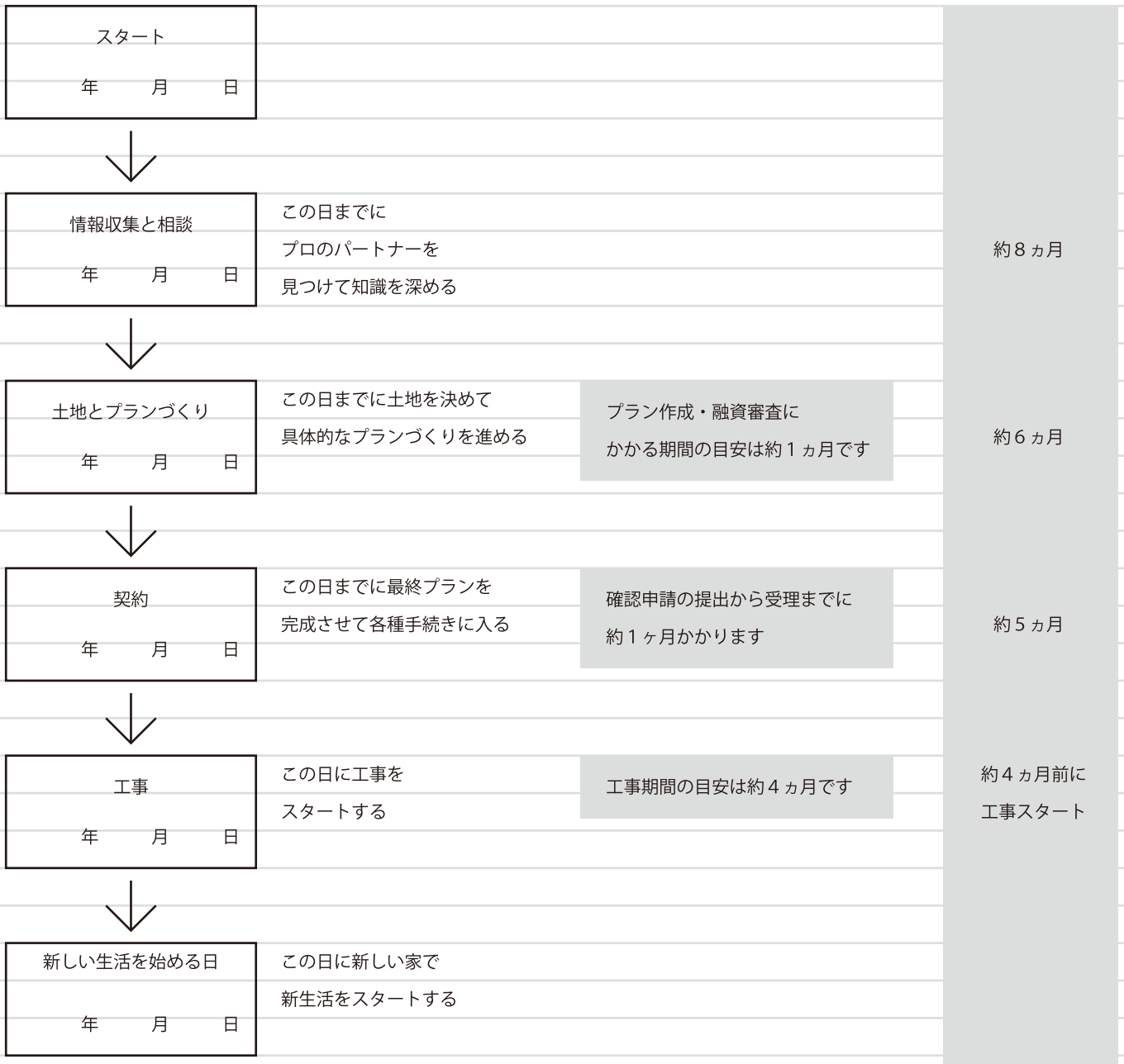
# まずは大きく計画を立ててみる

いつまでに何をすればいいのか大枠の計画を立ててみましょう。

## ●スケジュールの立て方

- いつごろから新生活を始めるかを定める
- 家づくりに何が必要か情報収集をする
- それぞれの工程時間の確認をする
- プランは何度も書き換えても良いように専門家に聞く

逆算スケジュールの目安



# 暮らし方をもう一度考えてみる

## 暮らし方を見つめなおす

「こんな暮らしがしたい」を目指して家づくりは、自分の理想を実現するチャンスです。

新しい家でどんな暮らしをしたいのか、家族と相談して箇条書きにしてみましょう。

「どんな暮らしをする家」にしたいのかを家族と一緒に書き出してみましょう。

例として

- ① 今と未来の家族構成
- ② 今の住まいの不満な点
- ③ 来客の頻度、客間の有無は
- ④ 家族全員がくつろげるスペースはどれくらい必要か
- ⑤ 各家族の趣味スペースは十分か
- ⑥ ベランダやウッドデッキ、ガーデニングは？
- ⑦ 仕事ができる部屋はあるか
- ⑧ ペットのスペースは

まずはしたいことを箇条書きにしてください。

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

ポイント

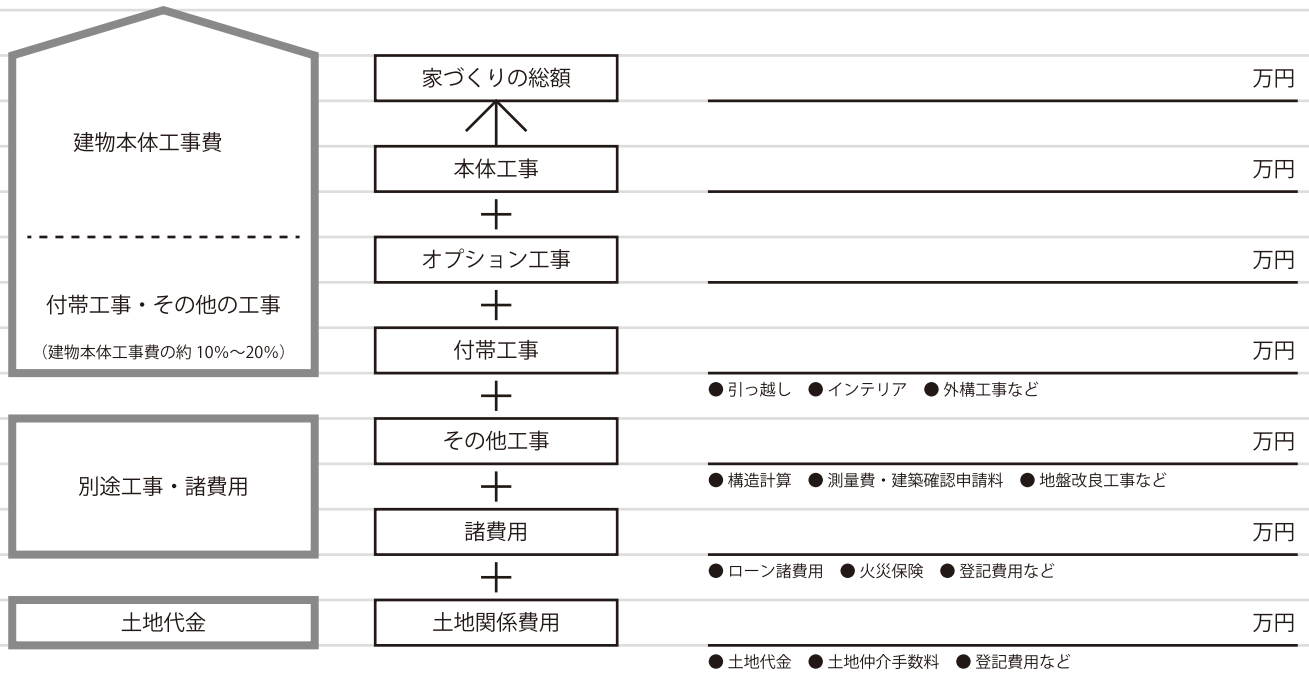
家づくりはコミュニケーションがとても大切です。どんな暮らしをしたいのか、自分たちの要望を書き出しておきましょう。

# 家づくりはどれくらいの費用がかかる？

家づくりは本体工事以外でも様々な費用がかかってきます。

後でオプション工事や付帯工事、仕様変更など予定外のコストオーバーがかさむと

基本計画が崩れてしまうので前もってチェックしてください。



# 見学した土地物件

土地は利便性、環境、法令制限など様々な要素を考慮して決めたいものです。  
そういった意味で、専門家の意見を聞きながら検討することをお勧めします。

年 月 日 ( ) 時間帯 ~ 天候 場所

## ● エリア・周辺環境

- 通勤・通学時間はどれくらいか 駅から 徒歩 分 バス 分
- 買い物に便利か
- 学校まで近いか
- 近くにどんな病院があるか
- その他にどんな施設のあるエリアか

## ● 現地

- 広さ 間口 m × 奥行 m
- 敷地面積 m<sup>2</sup> × 奥行き m
- 既存建物  有 構造 階建て
- 樹木  有 本
- 全面道路 m 道路 (東・西・南・北)

## ● 法令による制限

- 建ぺい率 %
- 容積率 %
- 道路後退  有  無

※これ以外にも制限を受ける場合があります。詳しくは担当者に相談しましょう。

## ● 現地の環境

- 日当りはよいか
- 道路からの眺めの良い・悪い
- 電柱の位置などは気にならないか
- 交通量は多いか・少ないか (安全か)
- 音は気にならないか
- 風向き (卓越風) はチェックしたか
- 高低差はどのくらいあるか
- ゴミ集積場所の位置
- 時間帯別 (朝・昼・夜) を確認したか
- 天気状況別 (晴・くもり・雨) を確認したか

# 無理のない資金計画を

## 予算を考える

家づくりにかかる予算は自己資金と借入資金の合計になります。

無理のない返済を目安に計画を立てましょう。

自己資金	+	借入資金	=	資金の合計
万円		万円		万円

毎月の返済額は金融機関のホームページのローンシミュレーションなどを利用してチェックできます。

また、住宅ローンは繰り上げ返済などを利用すれば、返済期間を短くしたり、

返済額を少なくしたりすることもできます。

月々の返済額に無理があれば、費用を見直して無理の無い計画を立て直す必要があります。

金融期間	金利		返済期間	毎月の返済額
	%	<input type="checkbox"/> 固定 <input type="checkbox"/> 変動	年	円
	%	<input type="checkbox"/> 固定 <input type="checkbox"/> 変動	年	円
	%	<input type="checkbox"/> 固定 <input type="checkbox"/> 変動	年	円
	%	<input type="checkbox"/> 固定 <input type="checkbox"/> 変動	年	円

暮らしたい形をプランに描いてみてください

